



DISTRICT 26 AREA4  
Zonta Club of Kitakyushu  
北九州ゾンタクラブ

# 北九州ゾンタクラブ

美苑書

**Vol.32**  
**2026.05.31**



## 会長挨拶



会長 河邊 政恵

2026年6月より会長を拝命いたします河邊でございます。再びクラブ運営をお預かりすることとなり、非常に身が引き締まる思いであります。

この2年間はエリア4エリアディレクターとして活動してまいりました。和田津ガバナーをはじめ、素晴らしい地区役員の方々に恵まれ一緒に汗をかくことができましたことに、心より感謝を申し上げます。また、北九州ゾンタクラブ会員みなさまには絶大なご支援をいただきました。おかげさまで任期を全うすることができましたのも、所属クラブのみなさまがお支えくださったからです。本当にありがとうございます。

エリアディレクターの任期中に、エリア4の12クラブを訪問させていただきました。それぞれのクラブ会員みなさまが工夫をこらし、生き活きと活動なさっておられるお姿に、大いに刺激を受けパワーをいただきました。エリアディレクターの経験を次のクラブ運営に活かすことができるよう精進するとともに、定例会では楽しい中に学びを見つけることができるよう、会員みなさまと手を携えてまいりたいと存じます。

国際ゾンタの目標「女性と少女のためのよりよい世界を築く」の実現のため、大変微力ではございますが力を尽くしてまいります。ご支援ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

## 第3回AIDM（アジア地区間会議）を終えて



AIDM副実行委員長 木下 彰子

第3回AIDM(アジア地区間会議)は、国際ゾンタ26地区主催で2025年4月4日~6日まで福岡市のホテルニューオータニ博多で開催されました。17、25、26、31、32地区から600人の参加者を集め成功裡に終了することが出来ました。

和田津実行委員長、矢崎運営関連チームリーダー、浅野プログラム関連チームリーダー、粒崎会計、そして多くの実行委員会のメンバーお一人お一人の並々ならぬ協力は力強く、26地区の意気込みを感じさせてくれました。

若者の参加にも的を当て、実行委員長の和田津ガバナーが今期掲げておられる「手を取り、心を繋ぎ、ゾンタのバトンを次世代に」というモットーにも近づけたと感じています。

26地区から初めて国際関係のイベントにご参加いただいたゾンシャンも多く、ゾンタの素晴らしさを体感され、誇らしく感じて下さったと思っています。私自身も今回の経験を通して、ゾンタの活動、そしてゾンシャンの絆は素晴らしいと再確認させて頂きました

## 会長任期を終えて

早春の光が暖かく感じられる季節となりました。

日頃は北九州ゾンタクラブの活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。二年間の任期を終えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

振り返れば、昨年五月に福岡で開催された「第三回アジア地区間会議(AIDM)」に微力ながら貢献できたことは、大きな喜びでした。アジア各国のゾンシャンとの交流を通じ、国際的なネットワークの広がりと活動の意義を改めて深く実感いたしました。

コロナ禍からの回復期という難しい舵取りの中、組織運営に苦慮することもありましたが、会員の皆様が委員会活動や収益事業に懸命に励み、未熟な私を支えてくださったおかげで任期を全うできることに、心より感謝申し上げます。

七月のバンクーバー国際大会では、これまでの学びを糧に情熱を分かち合いたいと思います。

今後とも当クラブへの変わらぬご支援をお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。



直前会長 福島 大亮

## 国際ゾンタ26地区 第18回地区大会に参加して



2025年10月23日から25日の3日間、徳島県徳島市のJRホテルクレメント徳島にて、次期国際会長フェルナンダ・ガローフレスキ氏ご臨席のもと、第18回地区大会が開催されました。24日のビジネスセッション①では、会員増強部門表彰として我がクラブの木下彰子様を受賞なさいました。午後のビジネスセッション②では4つの審議事項に続き、次期役員・指名委員立候補者のスピーチと投票が行われたのですが、次期エリア4エリアディレクターとして、福岡ゾンタクラブの山田富士子様当选なさいましたことは、何よりも嬉しいこととございました。そして最終日の25日、「手を取り、心を繋ぎ、ゾンタのバトンを次世代へ～実現のために、今こそ」をテーマに行われたユース会員&男性会員サミットは、ゾンタの組織としての未来の姿を見たような思いがいたしました。デジタルサポートチームを立ち上げ、ダイバーシティ&インクルージョンを軸に多様な価値の受容と協働を拡大することのご提案をなさいました男性会員、地域防災に女性+福祉の視点+若者の関心を訴えたいユース会員、さらには「微力だけれど無力じゃない」を合言葉に、身近な場から平和を作る活動を訴えたいユース会員ととても力強く頼もしく、明るい展望を感じた次第です。尚、北九州ゾンタクラブでは初めてのゾンタストアを出店。多くの方々に小倉織縞々とのコラボ商品を手に取り、ご購入をいただくことができました。結びに、ホストクラブとして地区大会の運営にご尽力くださいました鳴門ゾンタクラブのみなさまへ、心より感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

河邊 政恵

# 北九州ゾンタクラブ・ チャリティハートフルパーティ 2025



2025年11月27日に開催された「国際ゾンタ26地区エリア4チャリティハートフルパーティ2025」は、スペシャルゲストに鳳蘭さんをお招きしました。

会場には、遠方からお越し頂いたファンの皆様をはじめ多くのお客様がご来場いただき、開演前から熱い期待感に包まれていました。幕が上がると、そこには宝塚歌劇団・星組トップスター時代から変わらぬ、鳳蘭さんのエキゾチックな美貌と圧倒的な存在感がありました。退団後も、日本のミュージカル界を牽引し続けてきた鳳蘭さん。その歌声が響いた瞬間、会場の空気は一変し、鳳蘭さんの唯一無二の世界観に塗り替えられました。トークでも等身大の魅力が溢れ、ご来場の皆様を魅了。大女優でありながら、サービス精神旺盛でチャーミングな語り口に、会場内は終始笑顔と歓声が絶えませんでした。熱いステージの終了後はもうひとつのお楽しみである「ハートフルくじ」でも盛り上がりました。今回のイベントを通じてゾンタクラブが掲げる「女性のエンパワーメント」を象徴するものだと強く感じました。鳳蘭さんの世界観に触れたこの感動を糧に、私たちもまた、社会への奉仕と女性の地位向上に向けた歩みをさらに進めていきたいと思える、素晴らしい一日となりました。

副会長 芳賀 眞理子

## ローズデイ

2026年3月15日今年のローズデイ記念事業講演は、「自分らしい生き方をするために」というテーマにて、前福岡県知事の大曲昭恵様にご講演をいただきました。会場は、ほぼ満席にて開催されました。また、福岡ゾントクラブの皆様も沢山駆けつけていただきました。ご参加いただきました皆様、心より感謝申し上げます。

今回の講演では、人口減少や働き方の変化を背景に、ダイバーシティとインクルージョンの重要性について理解を深めることができました。特に女性活躍や共働きの増加、育児・介護との両立など、社会の構造が大きく変化している現状が印象的でした。

また、無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)に気づき、多様な人材が活躍できる環境を整えることが、組織や社会の成長につながるという点に強く共感しました。

後半のパネルディスカッションでは、西南女学院大学ゴールデンZクラブの柚田さん北九州ゾントクラブの福島会長とともに、それぞれの立場で、自分らしく生きるためにそして、私達が住む北九州について、とても未来が明るいディスカッションになりました。

多くの皆様のご協力により、素晴らしい講演会となりました。

心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

アドボカシー委員長 塚本 美紀



## エリアミーティング in 福岡



4月18日、レストランテ、Kubotsuにて、国際ゾンタ26地区 エリア4 第18回 エリアミーティングが開催されました。「ゾンタのバトンを次世代へつなぐ ～地球環境とジェンダー」というテーマにて、当会、河邊エリアディレクター主催にて福岡ゾンタクラブ様がホストクラブとなって、非常に細部に渡り準備を行っていただき、とても素晴らしいプログラムで開催されました。

基調講演は、大田純子様 演題「気候変動の国際動向～COP、IPCCの現場から」と、ゾンタクラブに非常にふさわしい内容で将来、一人ひとりの行動が大きく地球を変えるという事が良く理解できました。

そのあとは「レゴブロック」によるワークショップで、皆さんのそれぞれの個性を発揮して、かつ表現される場を共有する事ができました。また、今回当会はオリジナルグッズの販売でゾンタストアにも調整いたしました。ゾンタストアでの売上は当会の寄付活動に繋いでまいります。

あっという間の1日でしたが、非常に素晴らしいプログラムでした。

河邊エリアディレクター、福岡ゾンタクラブ様に心より感謝申し上げます。

ありがとうございます。

国連・広報委員会 眞鍋 孝輔

## 新入会員紹介

家成(やなり)千春と申します。

2025年12月1日に入会させていただきました。

オブザーバーで三隅塾に参加させていただいた際今まで関わる事のなかった女性を包括する世界的視野での問題点をご参加者皆さまのお人柄が織り成す穏やかで闊達な

コミュニケーションの中で心地よく学ばせていただけました事でゾンタクラブへの入会意義を喜びとして感じました。

私自身は不動産業に身を置いています。

男性社会進行形の業界で女性の地位向上のために心に置くことは、対立ではなくイソップの寓話『北風と太陽』の太陽を目指し自己の成長を以て示していくという思いです。

ですが、現実はなかなか難しく。

ゾンタクラブの活動を通じ皆さんから沢山の学びをいただきながら成長して参りたく、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



新入会員 家成 千春

## 西南女学院大学ゴールデンZクラブ



今年度は、プロギングなどのボランティアやカンボジア学生の受け入れ・カンボジアへの訪問など、幅広い活動を行いました。北九州で開催されたエコライフステージやプロギングでは、地域の方々と直接関わる中で、日頃からSDGsを意識して、主体性を持って環境に働きかけることが大切であると気づきました。また、カンボジアでは、日本文化を通じた交流として高校生と折り鶴作りと書道を行いました。身振り手振りや表情など小さな工夫を凝らし、意思疎通を図ることができたときの喜びや生徒たちの楽しんでいる表情が今も強く印象に残っています。この交流を通して、伝えたいという姿勢が言語の壁を越えるのだと実感しました。

最後に、日頃よりご支援くださる皆さまに心より感謝申し上げます。これらの経験を活かして、今後もより充実した活動を目指して取り組んでまいります。

西南女学院大学ゴールデンZクラブ 宮田 櫻音

## オリジナルグッズの販売について



KOKURA SHIMA SHIMA



北九州ゾントクラブSDGs  
オリジナルペンケース  
3,500円



北九州ゾントクラブSDGs  
オリジナルステンレスボトル  
4,000円



北九州ゾントクラブSDGs  
ストール  
8,000円

小倉縞々様の地球をテーマにした「縞縞 EARTH」。経糸は小倉織伝統の丈夫な木綿を高密度なままに、よこ糸に環境循環型の再生糸を取り入れたサステナブルなシリーズで制作したゾントクラブ北九州のオリジナルグッズです。

オリジナルグッズは、右のQRコードを読み取り、オリジナルグッズ専用サイトよりご購入できます。



# 北九州ゾントクラブ2025年度事業報告 2025年(令和7年)6月1日～2026年(令和8年)5月31日

## 2024年

月	日	事業内容
6月	1日	第12回 役員会 三隅塾
	16日	年次総会・第1回定例会 2024年度 会報発行

月	日	事業内容
7月	1日	第1回 役員会
	22日	第2回 定例会 三隅塾

月	日	事業内容
8月	5日	第2回 役員会
	18日	第3回 定例会 三隅塾

月	日	事業内容
9月	2日	第3回 役員会
	16日	第4回 定例会(会員卓話) 三隅塾

月	日	事業内容
10月	7日	第4回 役員会
	11日	国際ガールズデイ
	20日	第5回 定例会 三隅塾
	24日	第18回地区大会
	25日	

月	日	事業内容
11月	4日	第5回 役員会
	8日	国際ZONTA生誕106年
	17日	第6回 定例会 三隅塾
	25日	女性に対する暴力撤廃の国際デー
	27日	ハートフルパーティー ZONTA Says NO月間

## 2025年

月	日	事業内容
12月	2日	第6回 役員会
	10日	世界人権デー
	15日	第7回 定例会 三隅塾

月	日	事業内容
1月	6日	アメリカ・イアハート月間
	19日	第7回 役員会 第8回 定例会 三隅塾

月	日	事業内容
2月	3日	第8回 役員会
	16日	第9回 定例会

月	日	事業内容
3月	3日	国際女性デー(ローズデイ)月間
	8日	第9回 役員会
	16日	国際女性デー 第10回 定例会 三隅塾

月	日	事業内容
4月	7日	第10回 役員会
	20日	第11回 定例会(外部卓話)
	22日	三隅塾

月	日	事業内容
5月	5日	第11回 役員会
	18日	第12回 定例会 三隅塾 会報発行

## 令和7年度会員一覧 2026年(令和7年)6月～2027年(令和8年)5月

◎=委員長

役職	氏名	役職	氏名
会長	河邊 政恵	監査	日野 久美子
副会長	眞鍋 孝輔	財務・プログラム委員会	◎河邊 政恵、天川 悦子、日野 久美子、渡部 英子
書記	福島 大亮	アドボカシー・奉仕委員会	◎水嶋 章陽、木下 彰子、籠田 淳子、千代丸 孝子、神谷 麻里(休)
会計	家成 千春	国連・広報委員会	◎眞鍋 孝輔、落水 洋介、福島 大亮、坂本 直美(休)
特別会計	渡部 英子	会員委員会	◎三宅 まゆみ、末吉 房代、塚本 美紀、芳賀 眞理子、田淵 祐子(休)
理事	木下 彰子	GZ	◎塚本 美紀

毎月/役員会(第1日曜日)男女共同参画センタームーブ・定例会(第3日曜日)リーガロイヤルホテル小倉

寄付活動	児童養護施設 若松児童ホーム 社会福祉法人 カトリック社会事業協会 聖小崎ホーム
------	--